

第 32 回 地域を活かす科学技術政策研修会 (JAREC 研修) in 宮城 (仙台) 事業概要

日 時： 2025 年 1 月 23 日 (木)・24 日 (金) 2 日間

会 場： 青葉山公園 仙臺緑彩館 交流体験ホール (1 日目) / 分科会別途会場 (2 日目)

開催形態：全体会議・視察 (1 日目) 現地参加 (Zoom Webinar 併用)

分科会・関連施設見学 (2 日目) 現地参加

主 催： 公益財団法人全日本科学技術協会 (JAREC)

共 催： 国立研究開発法人科学技術振興機構

一般財団法人光科学イノベーションセンター (PhoSIC) (予定)

後 援： 国立大学法人東北大学 (予定)

内閣府

宮城県

仙台市

公益財団法人仙台市産業振興事業団

一般社団法人みやぎ工業会

対 象： 大学・国研等研究機関・高専・地方自治体・民間企業等における研究者

産学官連携従事者および地域を活かす産学連携にご興味のある方

定 員： 全体会議・視察 現地参加 100 名 オンライン参加 (Zoom Webinar) 300 名

分科会・施設見学 現地参加 30~50 名

分科会 A (脱炭素)・分科会 B (気候変動と防災)

分科会 C (放射光による農林水産・食品加工の高付加価値化)

参加費： 無 料 ※現地までの交通費はご参加者にてご負担願います。

お申込： 弊協会 (JAREC) のホームページよりお申込み願います。

以下の URL または右の QR コードにアクセスください。

定員となり次第締切となります。

https://www.jarec.or.jp/32th_jarec_symposium/moushikomi.htm



1. 開催の目的とねらい

本研修会は、国の地域創生に向けた科学技術・産業振興の施策説明や地域の未来価値創造に向けた新たな産業振興の取組等の活動を共有することで、地域イノベーション・エコシステム形成のさらなる推進を目指します。また、基調講演、分科会 (ワークショップ) を通じて、中長期に亘り産学官が連携しながら検討すべき課題について、皆さまと検討して参ります。とくに今回は、ナノテラス (3GeV 高輝度放射光施設) の視察と放射光の地域利用について検討致します。

2. テーマ 「新たな地域イノベーション・エコシステムによる未来価値創造」

3. プログラム

※詳細は別紙ご参照願います。

プログラムの概要及び時間帯につきましては、一部変更となる可能性がありますので
ご了承の程お願い致します。

1日目 全体会議 青葉山公園 仙臺緑彩館 交流体験ホール

- ① 地域イノベーションに係る国等の科学技術・産業施策説明と地域事例紹介 10:00～15:10
- ② ナノテラス視察 15:30～16:30
- ③ ポスターセッション 17:00～17:30
- ④ 懇親会 17:30～19:00 会場 仙臺緑彩館 交流体験ホール 会費@3,500円

2日目 分科会（ワークショップ）

※会場は、いずれも東北大学青葉山キャンパス内を予定しています。

分科会 A（脱炭素）

分科会 B（気候変動と防災）

分科会 C（放射光による農林水産・食品加工の高付加価値化）

- ⑤ ワークショップ 9:30～14:30
- ⑥ 解散 15:00

[会場マップ]

青葉山公園 仙臺緑彩館 交流体験ホール／宮城県仙台市青葉区川内追廻無番

（1日目 全体会議・ポスターセッション・懇親会）

電車：仙台市営地下鉄東西線「国際センター駅」から徒歩7分

バス：るーぷる仙台「博物館・国際センター前」から徒歩2分



出所：青葉山公園仙臺緑彩館 Google マップ

(別紙)

1 日目 全体会議 青葉山公園 仙臺緑彩館 交流体験ホール

① 地域イノベーションに係る国等の科学技術・産業施策説明と地域事例紹介

9:50 連絡事項

10:00～10:20 挨拶 宮城県・仙台市・東北大学・公益財団法人全日本科学技術協会

10:20～10:40 講演① 内閣府

内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局

参事官(統合戦略担当) 永澤 剛氏

10:40～11:00 講演② 文部科学省

科学技術・学術政策局 産業連携・地域振興課

課長 池田 一郎氏(予定)

11:00～11:30 地域事例紹介1 福岡地域

元福岡県工業技術センター 所長

一般財団法人直鞍情報・産業振興協会

専務理事 神谷 昌秀氏

11:30～12:00 地域事例紹介2 神奈川地域

神奈川県政策局 いのち・未来戦略本部室

未病産業担当部長 牧野 義之氏

12:00～12:40 昼休憩

12:40～13:00 講演③ 経済産業省

経済産業政策局 地域経済産業政策課

課長 下世古 光可氏

13:00～13:30 地域事例紹介3 宮城地域(仙台)

東北大学 共創戦略センター

特任教授 山田 健一氏

13:30～13:50 講演④ 農林水産省

農林水産技術会議事務局 研究推進課 産学連携室

室長 大熊 武氏

13:50～14:20 地域事例紹介4 高知地域(高知)

高知県農業技術センター

所長・兼病害虫防除所所長 高橋 昭彦氏

14:20～14:30 休憩

14:30～14:50 基調講演①

東北大学 国際放射光イノベーション・スマート研究センター 教授

一般財団法人光科学イノベーションセンター 理事長 高田 昌樹 氏

14:50～15:10 基調講演②

東北大学 多元物質科学研究所 量子ビーム構造生物化学研究分野

教授 南後恵理子氏

※15:15 Nano Terasu (バス移動)

- ② 現地視察 3GeV 高輝度放射光施設 Nano Terasu
 15:30～16:00 (A 班) 視察
 一般財団法人光科学イノベーションセンター
 副センター長 河村 純一氏
 (B 班)
 [事例紹介]
 株式会社ティ・ディ・シー
 代表取締役社長 赤羽 優子氏
 [統括質問]
 一般財団法人光科学イノベーションセンター
 理事長 高田 昌樹氏
 東北大学 多元物質科学研究所 教授 南後 恵理子氏
 16:00～16:30 (A 班)
 [事例紹介]
 株式会社ティ・ディ・シー
 代表取締役社長 赤羽 優子氏
 [統括質問]
 一般財団法人光科学イノベーションセンター
 理事長 高田 昌樹氏
 東北大学 多元物質科学研究所 教授 南後 恵理子氏
 (B 班) 視察
 一般財団法人光科学イノベーションセンター
 副センター長 河村 純一氏
 ※16:45 仙臺緑彩館 (バス移動)
- ③ 17:00～17:30 ポスターセッション 協力 一般社団法人みやぎ工業会 他
 ④ 17:30～19:00 交流会 仙臺緑彩館 (会費 @3,500)

 2 日目 分科会 (ワークショップ) 案 東北大学青葉山キャンパス内予定

時間帯 9:30～14:30 予定

会場 東北大学青葉山キャンパス内予定

◇テーマ1 『資源循環』－ 脱炭素化社会への行動変容 －

講演 1 「資源循環戦略や今後の展望 (仮)」 経済産業省 GX グループ 資源循環経済課
 課長 田中 将吾氏

講演 2 「CE 社会実装に向けた戦略と取組、その課題」 東北大学グリーン未来創造機構グリ
 ーんクロステック研究センター 教授 松尾 良夫氏

講演 3 「仙台市における脱炭素に向けた活動」 仙台市環境局次長兼資源循環部長

事例発表：高度マテリアルリサイクル研究会

施設視察：J&T 環境株式会社仙台工場

◇テーマ2『事前復興』災害に強い地域の100年の取組みを考える

講演1『気候変動』－温室効果気体の地球規模循環の解明（仮）

東北大学 大気海洋変動観測研究センター

名誉教授 青木 周司先生

講演2「線状降水帯のシミュレーションー100年後の東北地域」(仮)

東北大学大学院 理学研究科 地球物理学専攻 気象学・大気力学分野

兼災害科学国際研究所 災害評価・低減研究部門 気象・海洋・宙空災害研究分野

准教授 伊藤 純至先生

グループ討議

◇テーマ3『放射光による農林水産・食品加工の高付加価値化』

講演「食・農研究と地域連携における放射光活用に向けた東北大学の取り組み」

東北大学大学院 農学研究科 農芸化学専攻 分子生物化学分野 教授

国際放射光イノベーション・スマート研究センター（兼任）

農学研究科附属 放射光生命農学センター長

教授 原田 昌彦先生

グループ討議

※KC みやぎ推進ネットワークとの共催

・本学との関連性

本研修会の開催に当たっては、貴学 国際放射光イノベーション・スマート研究センター 高田 昌樹教授より、1日目（1月23日）「地域イノベーションに係る国等の科学技術・産業施策説明」「3GeV 高輝度放射光施設 Nano Terasu 現地視察」の企画に関与している。

また、本研修会の1日目「地域イノベーションに係る国等の科学技術・産業施策説明」では、基調講演にて貴学 多元物質科学研究所 南後 恵理子教授が登壇する。そのほか、2日目分科会では、貴学 グリーン未来創造機構グリーンクロステック研究センター 松尾 良夫教授（資源循環）、東北大学大学院 理学研究科 伊藤 純至准教授（事前復興）、東北大学大学院 農学研究科 原田 昌彦教授が事例報告で登壇している。

以上のことから、本研修会には貴学の複数の教員が参画し、講演・事例報告等にて登壇するため、貴学の名義使用が適切であると判断し申請した次第である。

・広報手段（名義の使用媒体）

本研修会ホームページ（https://www.jarec.or.jp/32th_jarec_symposium/index.html）のほか、本研修会の開催案内リーフレット・予稿集等に掲載される予定である。本研修会の広報に当たっては、府省庁・都道府県・政令指定都市関係各所に開催案内を配布するほか、JST・産業振興財団をはじめとする関係機関のメールマガジンにて本研修会の情報を配信する。

以上